

平成 26 年 8 月 7 日
独立行政法人国民生活センター

消費生活センター等の依頼に基づいて実施した商品テスト結果をご紹介します。

留めねじが脱落し取っ手が外れたフライパン

1. 依頼内容

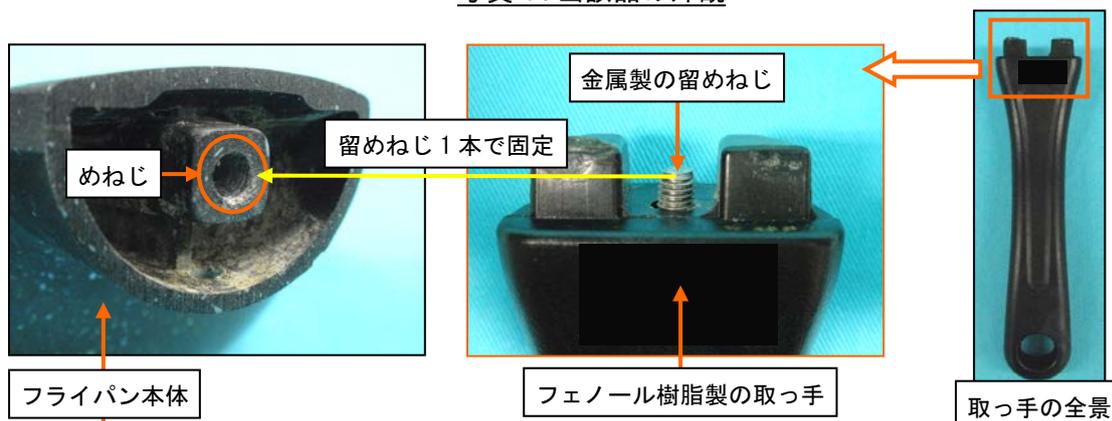
「購入後約 3 カ月でフライパンのねじが脱落し、取っ手が外れた。その後、時々ねじを締めながら使用していたが、調理中に再び取っ手が外れた。取っ手が外れた原因を調べてほしい。」という依頼を受けました。

2. 調査

当該品は、直径約 20cm のフライパンでした。当該品はアルミニウム合金製のフライパン本体に直接めねじ^(注 1)が切っており、フェノール樹脂製の取っ手を金属製の留めねじ 1 本でフライパン本体に固定する構造になっていました(写真 1)。

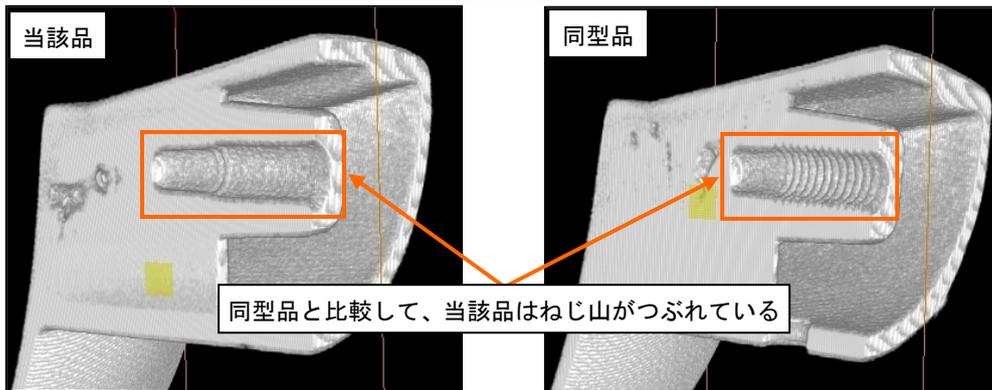
(注 1)ねじ山が円筒または円すいの内面にあるねじ。

写真 1. 当該品の外観



別途、同型品も購入して調査を行ったところ、当該品は同型品と比較して、めねじのねじ山がつぶれているのがわかりました(写真 2)。また、ねじ穴の内径を測定し比較したところ、同型品が横方向 4.8mm、縦方向 4.8mm なのに対し、当該品は横方向 5.5mm、縦方向 5.5mm で、ねじ穴の内径が広がっているのがわかりました。

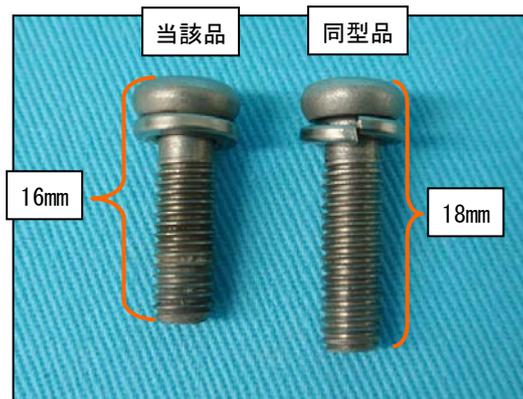
写真 2. X線 CT によるねじ穴断面の 3D 画像



次に、当該品の金属製の留めねじを調査したところ、ねじの呼び^(注2)は M5(呼び径が 5mm のメートル並目ねじ)で長さは 16mm でした。一方、同型品の留めねじを調査すると、ねじの呼びは同じ M5 でしたが長さが 18mm あり、当該品のねじには 2mm 短いものが使用されていました(写真3)。

(注 2) ねじの形式、呼び径(ねじの寸法を代表する直径)及びピッチ(ねじ山の間隔)を表す呼び記号。

写真 3. 金属製の留めねじの比較



以上、取っ手が外れた原因は、留めねじが同型品より短かったことに加え、フライパン本体のめねじのねじ山がつぶれていたためと考えられました。

3. 解決内容等

依頼センターがテスト結果を事業者の説明したところ、事業者より「他製品の 16mm のねじが誤って混入した可能性と、製造工程での組立段階で、ねじ穴に斜めにねじを挿入し締め付けた可能性があるため、今後は品質管理を改善する。」との回答を得ました。また、相談者には代替品が提供されました。

本件問い合わせ先

商品テスト部 : 042-758-3165